

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英会話Ⅳ
科目基礎情報						
科目番号	0121		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	1		
教科書/教材	自作教材を用いる 参考文献：Barron's Writing for the TOEFL iBT (3rd edition)					
担当教員	山村 啓人					
到達目標						
まとまりのある英語で自分の意見や考えを分かりやすく表現できることは、グローバル世界では必須のスキルであり、TOEFL iBTやIELTSなどの国際的な英語試験のスピーキングテストでも出題されている。 本講義では、後期に行われる英会話Ⅴの前段階として、瞬間口頭和文英訳の演習を中心に授業を進めていく。日常会話のあいさつや簡単なやりとりを超えて、自分の意見を瞬時に正確に述べるための練習となる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
正確さ	学習した英文について、正確に淀みなく口頭で再生することができる		学習した英文について、多少の言い淀みはあるが、ほぼ正確に口頭で再生することができる		学習した英文についてあまり記憶しておらず、口頭で再生することが十分にできない	
発音	明瞭で聞きやすい音量・発音で、学習した英文を再生することができる		発音の誤りはあるものの、ほぼ聞きやすい音量・発音で、学習した英文を再生することができる		声量が不十分で発音の誤りも多く、通じる水準で学習した英文を再生することができない	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー 3						
教育方法等						
概要	まとまりのある英語で自分の意見や考えを分かりやすく伝えるための準備段階として、提示された日本語を口頭英訳し、それぞれの英文について個別に音声指導を受けることで、正しく再生できる英文を増やしていくことが目的である。					
授業の進め方・方法	担当教員主導での練習活動が主となる。ペアで確認する場面もあるが、語学のほとんどの基礎訓練がそうであるように、個人でしっかりと頑張って練習してほしい。					
注意点	・評価は2度の対面テストによって行われる。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることが出来る。 ・追認試験の結果、単位の修得が認められた者に対しては、その評価を60点とする。 ・シラバスは計画であるため、授業の進度や学生の理解度等に応じて、柔軟に授業運営を行う。 ・学修単位のため、授業外学習が必要である。 (授業外学習・事前) 事前に授業内容を予習したり指示された課題に取り組んでおく。 (授業外学習・事後) 理解した内容の復習や音読を十分に行う。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の目的と内容を理解する	
		2週	瞬間口頭和文英訳演習（文レベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		3週	瞬間口頭和文英訳演習（文レベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		4週	瞬間口頭和文英訳演習（文レベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		5週	瞬間口頭和文英訳演習（文レベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		6週	瞬間口頭和文英訳演習（文レベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		7週	中間試験①		これまで演習した英文について、理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		8週	中間試験②		これまで演習した英文について、理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
	2ndQ	9週	瞬間口頭和文英訳演習（まとまりレベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		10週	瞬間口頭和文英訳演習（まとまりレベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		11週	瞬間口頭和文英訳演習（まとまりレベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	
		12週	瞬間口頭和文英訳演習（まとまりレベル）		提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる	

		13週	瞬間口頭和文英訳演習（まとまりレベル）	提示された日本語を瞬間口頭英訳し、発音指導を受けながら、それらの英文を理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる
		14週	期末試験①	これまで演習した英文について、理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる
		15週	期末試験②	これまで演習した英文について、理想的な到達レベルに達する水準で発話することができる
		16週	フィードバック	総括

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0